

平成30(2018)年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題(一般選抜)

(科目名) 国際関係論
1. 現在、世界大でポピュリズム (populism) の蔓延が指摘されている。そうしたポピュリズム現象につき、各国・地域の状況を概観した上で、それが国際政治に及ぼし得る影響について論じなさい。(配点50点)
2. 次の語句について説明しなさい。(配点各10点)
(1) 相互確証破壊 (Mutual Assured Destruction)
(2) デタント (Détente)
(3) 保護する責任 (Responsibility to Protect)
(4) シェンゲン協定 (Schengen Agreement)
(5) グローバル・プロブレマティーク (global problematique)